

2学年 SS 発展探究第1回課題研究指導報告

- ◇期 日:令和4年6月17日(金)
- ◇場 所:本校各実験室、ゼミ室、図書館等
- ◇参加者:2学年理数科学科55名、人文社会科学科24名
- ◇指導者:富山大学の先生方



今回の発展探究の時間では、本校に富山大学の先生方をお招きし、私たち2学年が行っていく課題研究のテーマについて、各教科、班ごとに自分たちの考えた課題の案を説明した後に、ご指導、助言をいただいた。今後の研究の方針が固まっていく大切な機会であり、緊張している生徒も多く見受けられた。また、「自分たちのテーマは先行研究などで既に分かっているのではないか」、「このテーマで1年弱もの期間、研究・調査を続けていけるのか」など、不安を感じている生徒も多かった。

私の班では、先生方にテーマを説明する際に、伝えることに困難を感じた。当時の段階では、まだやりたいことがはっきりと確定しておらず、先が見えない状態で、説明を続けていく中で、少しずつ自信が無くなっていった。しかし、私たちがこのような状態であったにもかかわらず、先生方が私たちのやろうとしていることを汲み取ってくださり、今後の方針として、いくつか選択肢を挙げてくださった。そのおかげもあり、今では実験内容も決まり、そのための準備も整いつつあり、実行に移すという段階まで来ることができた。

また、他の班からも、「自分たちよりもはるかに多い知識を持つ先生方の話を聞き、それまで考えもしていなかった問題点分かり、根本からテーマを練り直す必要があると感じた」、「それまでに練っていた実験計画の甘さを痛感した。自分たちの案に的確な指摘をして下さり、もしこの機会が無かったら、実験を実行に移してから問題点に気が付くことになり、無駄な時間を過ごすことになっていたかもしれない」などというような、今回のご指導の有意義さを感じられる感想があった。

現在、私たちは、研究の計画を練り直した後、研究を進めているが、方針がはっきりしてきたことにより、どの班も活発に意見を出し合い、分担して作業を進めるなど、積極的に活動しているように見える。11月に行われる次回の発展探究課題研究指導では、先生方に少しでも良い成果を報告することができるよう、精進していきたい。

最後に、このような大変有意義な機会を設けていただいたおかげで、探究活動の始まりを良い形で迎えることができたので、今回お越しいただいた先生方に心より感謝申し上げます。